

会員のみなさんへ

「コミュニティ・スクールを効果的に運営するための機能」調査研究（シリーズ1） 理事長 中川 忠宣

文部科学省は、「平成16年6月に『地域教育行政の組織及び運営に関する法律』が改正され、教育委員会の判断により、保護者や地域の皆さんが、合議制の機関である学校運営協議会を通じて、一定の権限を持って学校運営に参画することが可能となりました。（略）」と説明しています。こうした方針の基に、2015年4月1日現在のコミュニティ・スクールの指定状況を2,389校、44都道府県、5道県235市区町村と発表しました。今回の全国調査では、コミュニティ・スクールを導入した結果、「学校の教育課題への対応として成果があった」と回答した割合は93.5%もあり、「学校教育課題への対応」に有効であることが確認できました。このような様々なデータや事例が紹介されることによって、今後、ますますコミュニティ・スクールが導入され、充実していくことが推測できます。しかし、コミュニティ・スクールの導入は、教職員の多忙に繋がる要素と密接に関わっていることも指摘されていますが、ここでは今回の調査からの2つの提言を紹介いたします。

提言1. コミュニティ・スクールは教育改革の柱

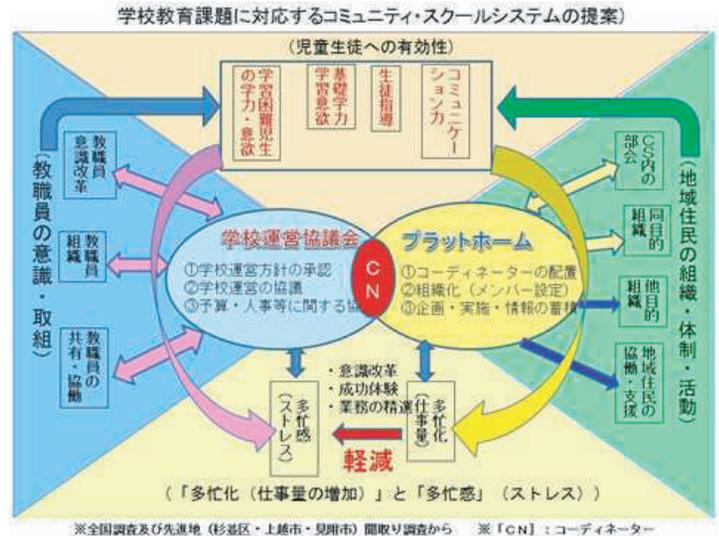
日常の学校教育への地域人材による支援活動が定着してきており、「教職員だけが学校教育活動をおこなう主体者ではない。」と考える時代になったと言えます。言い換えれば「教職員の意識改革」がコミュニティ・スクール運営の基盤となる重要な要素です。まさに、教育改革の一環として定着させていくことが必要です。

提言2. 学校教育ビジョンと学校教育課題の明確化

校長や教職員が異動しても、その学校の特色や課題、地域の願いや風土は変わらないことを考えると、長期的学校像とともに、達成すべき学校教育ビジョンを設定することが重要です。そのためには地域住民の参画が不可欠となり、そのことを踏まえた一定期間に解決すべき学校教育課題の設定と、単年度の学校運営の展開が求められます。こうしたシステムには、校長の手腕を発揮する部分と、教職員集団としての継続的な教育活動、長期的な地域との協働体制が必要となります。

<提案>コミュニティ・スクールシステムの構想

図は、学校教育課題に対応するコミュニティ・スクールシステムの構想を提案するものであり、「教職員の意識や取組」について働きかけたり、支援したりする役割を担う学校運営協議会の存在、学校教育活動と地域を繋ぐ役割を担うプラットフォームの存在が必要です。さらに、プラットフォームの機能を十分に発揮し、両者を繋ぐ役割（コーディネーターの存在とコーディネートシステム）が不可欠です。こうした仕組みを作るには、教職員が「教育改革」「教育の協働」という意識改革をおこなっていくための、地域からの学校支援体制づくりから始めるストーリーが必要です。そのことにより、学校教育課題への対応や、児童生徒への効果が表れ、結果的に、そうしたシステムの中で教職員の「多忙化（仕事量の増加）」や「多忙感（ストレス）」の軽減につながることを表しています。そういった意味でのコーディネーターの存在は大きなものがあります。



活動報告 — 「おおいた教育の日」推進関連事業「鶴崎地区教育懇話会教育講演会」

◎教育講演会（10/17）《テーマ》「明日の教育を考える～戦後70年の節目に～」

- アトラクション 合唱「希空・赤とんぼ他2曲」（別保アカデミー少年少女合唱団）
- シンポジウム 須股博信氏（環境カウンセラー） 安部泰史氏（鶴崎七輪の街づくり推進委員長）
本松健一氏（鶴崎小学校教諭） ※司会進行—小野善寛氏（退職校長会事務局長）
- 講演 演 「子育て：不易と流行（残したいこと・加えたいもの）」（前大分市教育委員長 高橋英子氏）

◇参加者の感想・意見（アンケートより）

・それぞれの時代を生きてきた先輩方の体験談は大変貴重なものでした。（保護者） ・語り継ぐ必要があるものが失われる日が来ると思う。これからの教育に受け継がれてほしい。（保護者） ・大先輩のお話は説得力があり、今も地域のために活動されているお姿に感動しました。（教職員） ・内容が濃く、引き込まれました。改めて先回りしない困りごとを本人に体験させたいと思います。経験に勝る学びはないと、子どもが成長できる場づくりをしていこうと思いました。（保護者） ・保護者の参加者も多いため、若い世代の親と現職の教員、退職された諸先輩が一堂に会する本懇話会は貴重な「教育を考える」機会となっていると思います。世代間の縦の繋がりを今後も大切にしたい社会であって欲しいと思っています。（教職員）

（鶴崎地区教育懇話会事務局長 園部 秀靖）

会員さんの活動紹介

映画『みんなの学校』上映会！の取材に行ってきました！

足利 悦子さん（5期生） ころころHappy 代表



みんなの学校
(イベントチラシ)

秋晴れに恵まれた10月17日、佐伯で開催された「みんなの学校」上映会に参加しました。終了後の感想は「参加して良かった。感動という言葉よりももっと強く胸に迫るものがあり、深い学びの時間を過ごせた。」と思いました。ころころHappyのメンバーさんと参加者のお話しても、甥っ子が同じような境遇なので親としての悩む気持ちが我が事のように感じました。発達障害の個性ある症状を持つ子の保護者としての苦労や葛藤の日々の体験を語り合い、共有と共感しながら分かち合うことで、ひとりで抱え込まずに仲間がいる心強さを感じました。何よりもころころHappyのみなさんの笑顔が温かな力を与えてくれました。

映画の内容も「こんな公立の学校が本当にあるんだ。」という驚きが正直な感想でした。枠からはみ出る子はお手上げ状態な学校が多いなかで、一人ひとりを大切に居場所を作る学校が存在している事実に感動しました。校長先生の存在が一番なのですが、教職員の共通理解とチームワークや連携の素晴らしさが羨ましかったです。トラブルを起こした児童に「我慢すること」「自分の非を認めて、きちんと相手に謝ること」を校長先生から諭され、なぜ我慢しなければならないのか？なぜ謝らねばならないのか？ということを経験を重ねながら、自分の中で答えを見つけていく子どもの姿に成長を感じて思わず涙が溢れてしまいました。



(たくさんの来場者)



(交流会の様子)

発達障害という個性のために生きづらい思いをする子や自分の気持ちも上手くコントロールできない子、家庭環境の問題で十分な愛情をかけてもらえない子などは、今ではどこにでも身近にいる子どもたちです。すべての子どもに、その子の気持ちに寄り添う大人が存在することで、人を信じる気持ちが育ち、学校という子どもの社会で人との関わり方を学び、思いやりや道徳心も養っていきける。人の温もりを感じながら、子どもたちに成長してもらいたいと改めて強く思った研修でした。(江口)



(受付の様子)



(足利さん、上映挨拶)

ころころHappy足利さんの取材は受付開始9:30分でしたが会場には9時入り！メンバーの皆さんは受付場所設営・上映会場の最終調整に手際よく行動。上映前の挨拶で「私たちがいい映画に出会えてよかった」足利さんの言葉が印象的でした。足利さんをはじめ、メンバーのみなさんは何かしら困りを抱えていますが皆さん明るく、子どもの学校のPTAにも積極的に参加している方も、忙しい毎日の中で会の活動にも取り組んでいます。私個人的には学校は子ども達にとって小さな社会と考えています。その中で子ども達は周りとのバランスを取りながらコミュニケーション能力を身に付けていくのではないのでしょうか？学校にいろんな人が居ていいやん！社会に出たらもっと沢山の人がいろんな考えがある。勉強も大切ですがコミュニケーション能力は社会に出た時に一番必要な能力じゃないかと思っています。

足利さんグループの活動・公演会はそんな事をあらためて私たちに教えてくれる活動です。今は佐伯市での活動が主ですが、協育ネット会員の皆さん、地域やPTA活動の中でころころHappyの公演会を開催してみたいかでしょうか？足利さんの思いは映画「みんなの学校」のように「すべての子どもに居場所のある学校や地域を作りたい。そんな活動です。きっとヒントをもらえます。公演依頼は下記HPからか、協育ネット事務局までご連絡ください。(上原)

ころころHappy HP <http://corocorohappy.com/>

協育ネット事務局電話番号 090-8225-3659 E-mail kyouikujimu@kyouiku-adviser.net

広報部よりお知らせ



広報部次回の取材はこちら！
知ってほしい！青少年からの発達障害 公開講座
皆さんも参加してみませんか？
NPO法人 共に生きる 代表理事 江藤 裕子さん
協育ネットの会員(5期生)です！
12月13日(日) 13:30~16:00
ホルトホール 201・202会議室
発達障害講演会・体験発表・交流会と充実の講座です。



どこでも取材に行きますよ～！

協育ネット広報部では会員の皆さんの活動を情報発信という方法でサポートしたいと考えています。イベント発信や活動のボランティア募集など、なんでもご相談ください。 masamichi.u625@gmail.com (上原)



協育ネットホームページ <http://www.kyouiku-adviser.net/>
協育ネットメールアドレス kyouikujimu@kyouiku-adviser.net

事務局よりお知らせ

協育ネット事務局は、平成27年度文部科学省委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」おんせん県おおいた・別府型ドリームプロジェクト「温泉コンシェルジュコース養成事業」の運営に関わっております。10月からは、別府溝部学園短期大学「温泉コンシェルジュコース」2年生応用科目のプレ講座を実施中。この本事業を広く市民の皆さんに周知いただくため別府市との協働事業として、公開講座を実施いたしますので、いち早く会員のみなさまへお伝えさせていただきます。

(仮)「平成27年度 温泉コンシェルジュ公開講座」
日時：平成28年1月～2月の週末(50分×3科目を合計3日間)
会場：別府市役所1階 レセプションホール(予定)

参加人数:30～50名 受講料無料
※詳しい日程が決まり次第お伝えさせていただきますので
ご参加のほどよろしくお願ひいたします。

私事ですが大分大学を9月30日付けにて退職いたしました。大学での経験を活かし協育ネットの運営に邁進する所存です。今後ともよろしくお願ひいたします。(事務局長 安達)